

トラック輸送情報（平成21年10月分）

平成22年1月27日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：桑原、久島、菊池 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

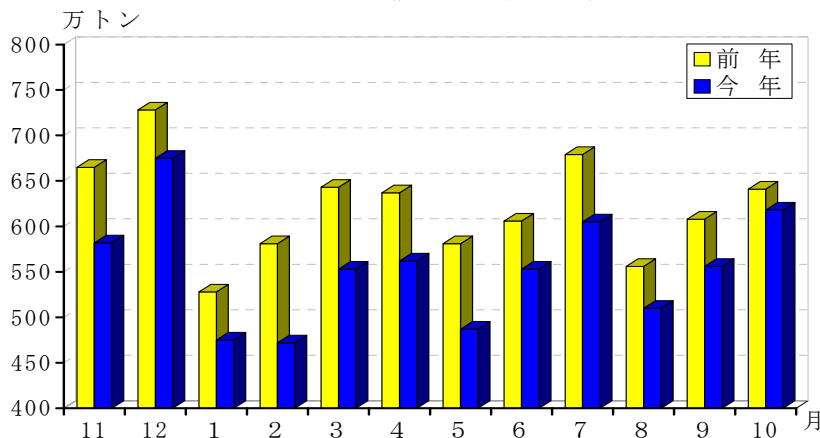
調査対象27社の本月の輸送量は、6,178,744トンで、前月と比べ総輸送量が約62万トン増加したため、前月比111.2%（季節調整済み104.9%）となり、前年同月との比較では、約23万トン減少したため、前年同月比96.4%の実績であった。

なお、平均稼働日数は25.1日で、前月と比べ2.0日増加し、前年同月と同日数であった。稼働1日当たりの輸送量は、246,165トンで、前月と比べ約6千トン増加したため、前月比102.4%となり、前年同月との比較では、約9千トン減少したため、前年同月比96.4%の実績であった。

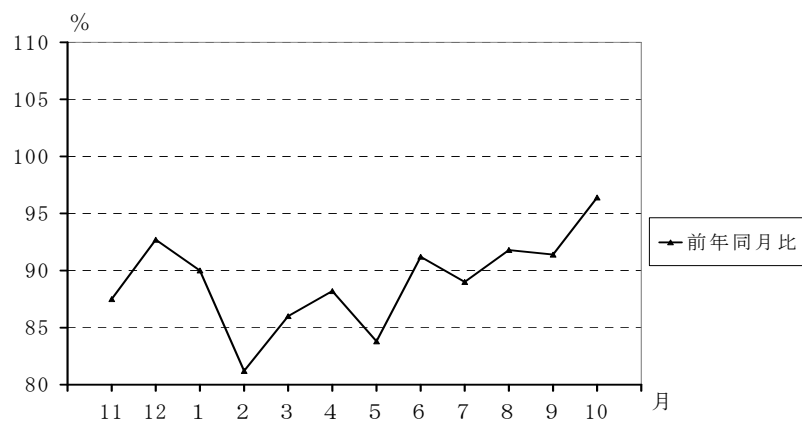
(図1-1、図1-2参照)

注) 平成21年4月から貨物輸送の調査対象については、1社増え、27社となった。

(図1-1) 輸送トン数の推移



(図1-2) 輸送トン数の前年同月比



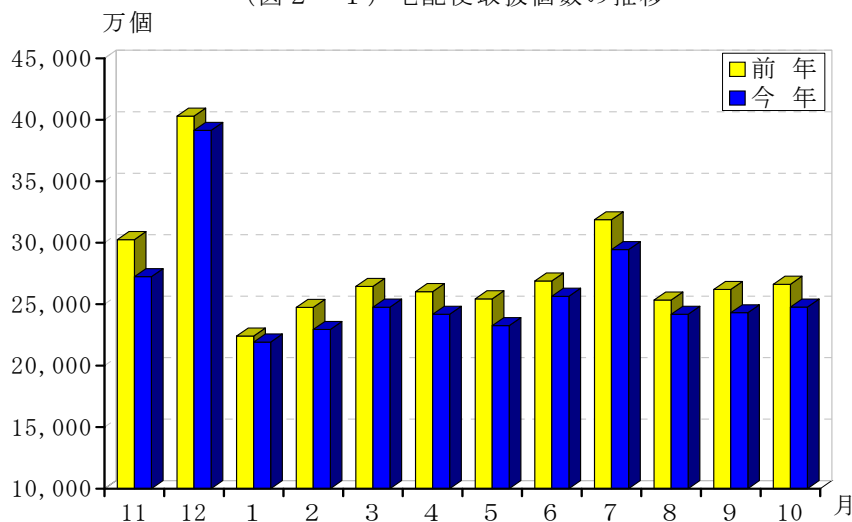
(2) 宅配便の概況

調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、247,640 千個で、前月と比べ 約 458 万個増加したため、前月比 101.9% (季節調整済み 98.5%) となり、前年同月との比較では、約 1,863 万個減少したため、前年同月比 93.0%の実績であった。

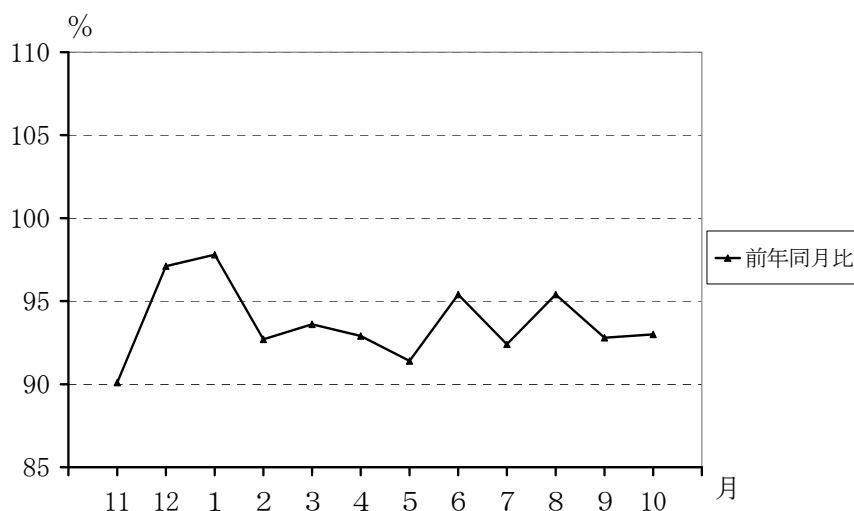
(図 2-1、図 2-2 参照)

注) 平成 21 年 4 月から宅配便輸送の調査対象については、1 社減り、19 社となった。

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、平均稼働日数が増加したこと等により、すべての品目で輸送量が増加した。増加要因としては、工場・生産地からの貨物増がすべての品目に共通してみられたほか、「金属製品」、「化学工業品」、「食料工業品」では倉庫から出る貨物増、「日用品」では商社・問屋からの貨物増、「その他 (宅配便)」では季節的需要増、デパート・スーパーからの貨物増も要因となっている。地域的には、「日用品」が全国的に増加したほか、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」が関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国で、「繊維工業品」が関東地方、北陸信越、愛知、中国で、「食料工業品」が東北、関東地方、中部地方、大阪、兵庫、福岡で増加している。

前年同月と比べると、不況に伴う工場・生産地や倉庫からの貨物減等により、「金属製品」、「機械」、「繊維工業品」、「日用品」で輸送量が減少している。地域的には、「日用品」、「その他 (宅配便、百貨店配送品)」がほぼ全国的に減少したほか、「農水産品」が東北で、「金属製品」、「機械」が東北、東京、関東、北陸信越、愛知、大阪、近畿、中国で、「化学工業品」、「食料工業品」が東北、関東で、「繊維工業品」が関東で減少している。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数				主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※ 増減要因		
	著 増	増	変 らず	減 減					
前 月 に 比 べ て	農水産品	2	2	14			4		
	金属製品		8	12	1	その他の金属製品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7	
	機械	1	6	14		機械部品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4	
	化学工業品		8	12	2	合成樹脂、その他の化学工業品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7	
	繊維工業品		5	16	1	糸	関東地方、北陸信越、愛知、中国	4	
	食料工業品		5	12	3	飲料、その他の食料工業品	東北、関東地方、中部地方、大阪、兵庫、福岡	4, 7	
	日用品		9	8	5	書籍・印刷物、身廻品、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、中部地方、近畿地方、九州	4, 5	
	その他	1	10	9	1	宅配便	関東地方、中国、全国	2, 4, 8	
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	2		12	3	1	中国 東北	4	
	金属製品		1	12	7	1		東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 9
	機械	1		11	8	1	機械部品	東北、東京、関東、北陸信越、愛知、大阪、近畿、中国	4, 7, 9
	化学工業品		2	12	8		合成樹脂	東北、神奈川、関東	4, 7
	繊維工業品			15	5	2	織物	関東	4, 7
	食料工業品		2	12	6		その他の食料工業品	福岡 東北、関東	4 7
	日用品		4	4	13	1	書籍・印刷物、衣服、身廻品、文具、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、北陸信越、大阪、近畿、中国、全国	4, 5, 7, 9
	その他		2	7	7	4	宅配便、百貨店配送品	神奈川、関東、全国	2, 9

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州(沖縄を含む))]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 767 社／調査対象事業者数 1,095 社）の輸送量は、前月比 108.4%、前年同月比 94.8%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前 月 比	108.4%	116.1%	108.5%	104.5%	106.2%	103.0%	105.3%	104.0%	102.9%	107.1%	117.7%
前年同月比	94.8%	98.5%	93.3%	94.8%	92.0%	88.5%	95.9%	91.7%	99.8%	95.2%	95.5%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	本月の輸送は、対前月比 116.1%、対前年同月比 98.5%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「木材」、「セメント」等の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「穀物」、「野菜・果物」、「その他の農産品」、「その他の石油製品」等の輸送量が増加している。一方、建設関連の需要減等により「砂利・砂・石材」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減等により「畜産品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
東北	本月の輸送は、対前月比 108.5%、対前年同月比 93.3%であった。品目別には、季節的需要増等により「穀物」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「工業用非金属鉱物」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
関東	本月の輸送は、対前月比 104.5%、対前年同月比は 94.8%であった。品目別には、季節的需要増等により「その他の製造工業品」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響により「その他の石油製品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
北陸信越	本月の輸送は、対前月比 106.2%、対前年同月比は 92.0%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」等の輸送量が増加した。一方、工場・生産地からの貨物減により「機械」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減により「穀物」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。
中部	本月の輸送は、対前月比 103.0%、対前年同月比は 88.5%であった。品目別には、商社・問屋からの貨物増等により「機械」、「日用品」、「その他の製造工業品」の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「工業用非金属鉱物」、「紙・パルプ」の輸送量が増加している。一方、商社・問屋からの貨物減により「水産品」、「取り合せ品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。
近畿	本月の輸送は、対前月比 105.3%、対前年同月比は 95.9%であった。品目別には、デパート・スーパーの貨物増により「食料工業品」の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「その他の化学工業品」、「日用品」等の輸送量が増加している。一方、不況の影響等により「金属製品」、「機械」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
中国	本月の輸送は、対前月比 104.0%、対前年同月比は 91.7%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「砂利・砂・石材」等の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増等により「その他の製造工業品」等の輸送量が増加している。一方、工場・生産地からの貨物減等により「金属製品」、「食料工業品」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減により「野菜・果物」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
四国	本月の輸送は、対前月比 102.9%、対前年同月比は 99.8%であった。品目別には、季節的需要増により「野菜・果物」等の輸送量が増加した。一方、建設関連の需要減により「廃棄物」の輸送量が減少したほか、季節的需要減により「その他の農産品」、「化学肥料」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
九州	本月の輸送は、対前月比 107.1%、対前年同月比は 95.2%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「工業用非金属鉱物」等の輸送量が増加したほか、行楽シーズンに伴う季節的需要増等により「野菜・果物」、「食料工業品」等の輸送量が増加している。一方、不況の影響等により「セメント」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
沖縄	本月の輸送は、対前月比 117.7%、対前年同月比は 95.5%であった。品目別には、建設関連の需要増により「金属製品」の輸送量が増加したほか、商社・問屋からの貨物増により「木材」の輸送量が増加している。一方、輸出入の貨物減により「日用品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局	北	東	関	北信	中	近	中	四	九	沖	全
		海	海	東	陸	部	畿	国	国	州	縄	国	
		道	道	北	越	越	越	越	越	越	越	越	越
1. 穀	増	6	8		1								15
	減				2								2
2. 野菜・果物	増	7			2			2	3	3			17
	減	3	2				1	2		2			10
3. その他の農産品	増	9			1			1	1	1			13
	減	2		1				1	1	1			6
4. 畜産品	増									1			1
	減	2											2
5. 水産品	増	1	1				1		1	1			5
	減					1							1
6. 木材	増	5	2		1							1	9
	減	2			1			1					4
7. 薪炭	増												
	減												
8. 石炭	増												
	減		1										1
9. 金属鉱物	増								1				1
	減												
10. 砂利・砂・石材	増	9	3					2		4			18
	減	8				1				2			11
11. 工業用非金属鉱物	増		1			1	1	1		2			6
	減		2							1			3
12. 鉄鋼	増				1		1	2					4
	減	1	1		1		1	2		1			7
13. 非鉄金属	増	1	1					1		1			4
	減				1								1
14. 金属製品	増				1				1		1		3
	減	1			1		1	2					5
15. 機械	増		1		2	3		1		3			10
	減	1	1		3	1	2	2		1			11
16. セメント	増	5	1		2						2		10
	減	1			1				1	3			6
17. その他の窯業品	増		1		1			1		1			4
	減		1										1

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		増		2		1				1	1	
18. 揮発油	減	1	1			1						3
19. その他の石油製品	増	2	1	1	3			1	1			9
	減			1	1			1				3
20. コークス・その他の石炭製品	増	1										1
	減											
21. 化学薬品	増						1					1
	減				1					1		2
22. 化学肥料	増		1		1			2				4
	減	1			1			2	1	1		6
23. その他の化学工業品	増		1				2	1		4		8
	減							1				1
24. 紙・パルプ	増	2	1		1	2	1	1	1	2		11
	減		1		3			1				5
25. 繊維工業品	増							1	1			2
	減				1			1				2
26. 食料工業品	増		4	1	2		2	4	1	6		20
	減	1	1		2		2	4	2	3		15
27. 日用品	増					2	2	2		3		9
	減	2	2					1		4	1	10
28. その他の製造工業品	増		2	3	2	1		3		3		14
	減									1		1
29. 金属くず	増									2	1	3
	減											
30. その他のくずもの	増											
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	2	2							1		5
	減	1								2		3
32. 廃棄物	増	2			1		2	1				6
	減							1	1			2
33. 輸送用容器	増				1			1		1		3
	減		1						1			2
34. 取り合せ品	増		1					2		3	1	7
	減		1			1				1	1	4
35. その他	増			3	3		4	4		1		15
	減		2					2		1		5